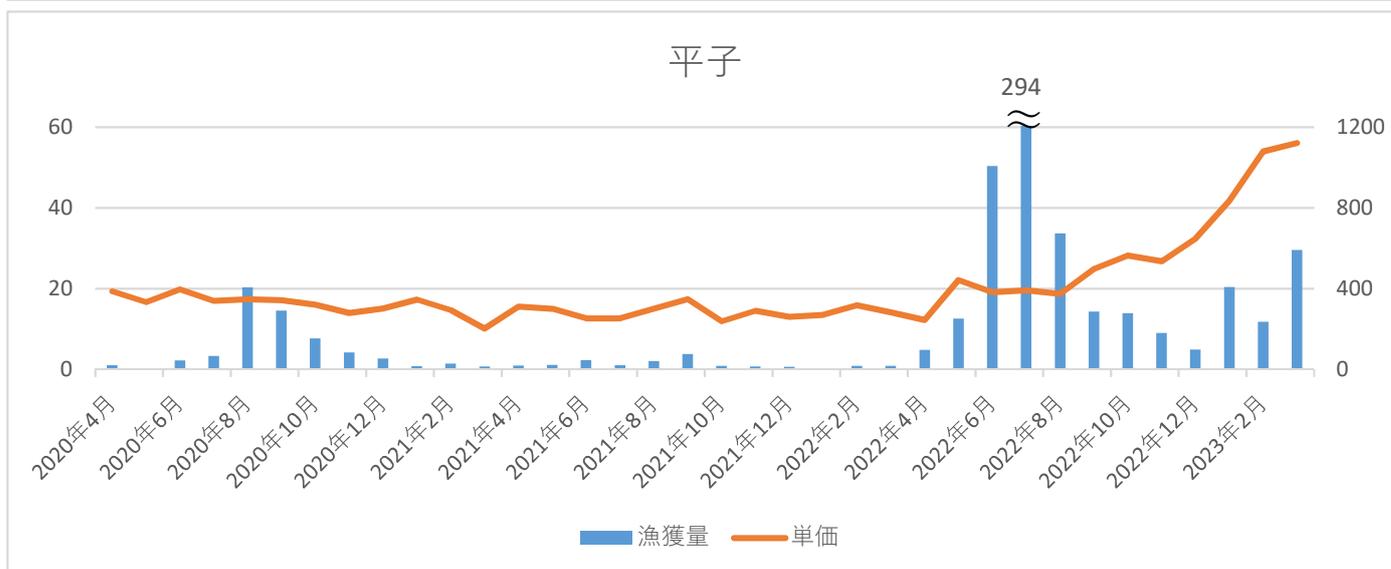
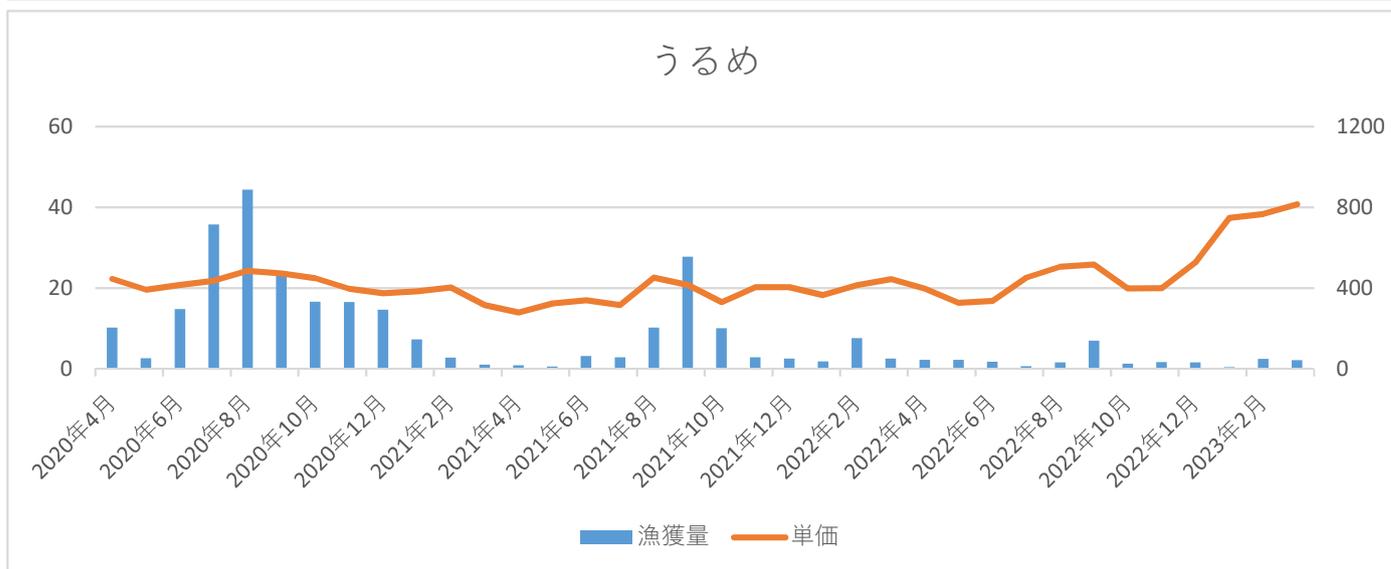
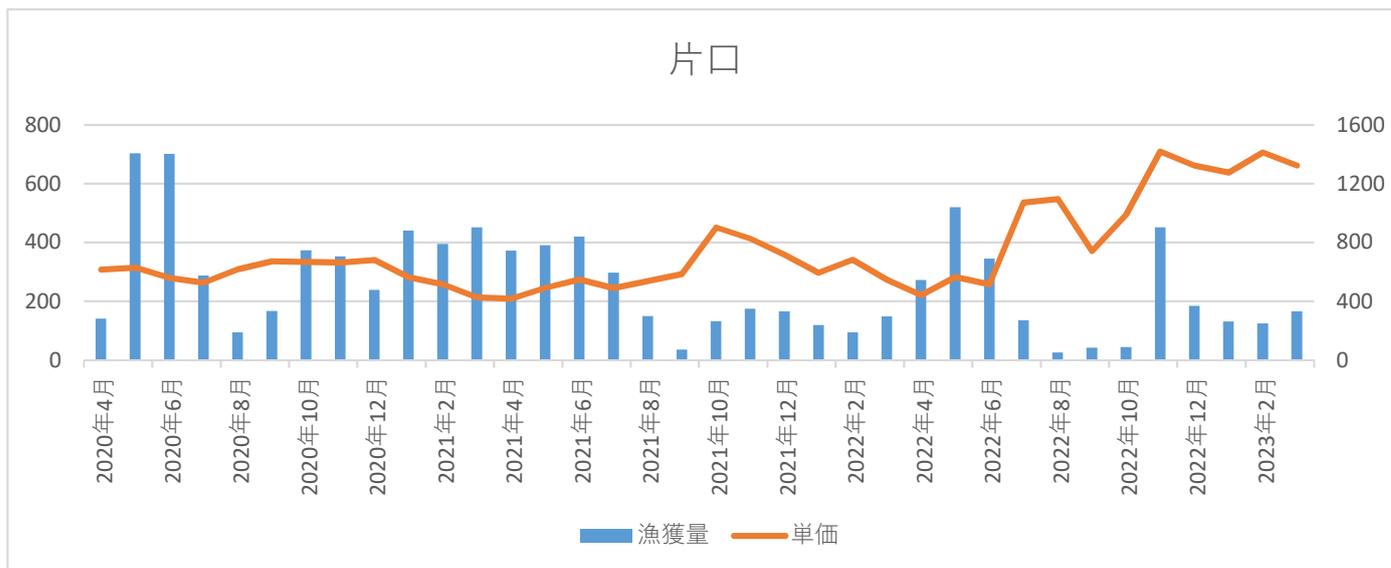


いわし煮干し（片口、うるめ、平子）について、長崎県漁連の煮干魚種別実績より推移を作成しました。
縦軸の左はt（トン）、右は円です。



片口、うるめともに漁獲量の減少に伴い単価の上昇が続くが、
2022年秋冬以降、想定よりも大きく原料が値上げとなる。
片口、うるめの漁獲量減少とともに平子の需要が高まり、価格上昇となっている。